

内部研修 実践報告会

令和2年1月25日（土） 海上アルファ工房

今年度から各事業所の垣根を越えてあおぞら全体が1つのチームとなり利用者の方々の支援を検討していく取り組みが始まりました。アセスメントを基に取り組みを行った実践を各事業所で発表しました。スーパーバイザーとして縄岡氏にもアドバイスをいただきました。今後も、取り組んでまいります。（関則子）

江ヶ崎



利用者様に合わせた環境作りやスケジュールなど1からのスタートでした。難しい部分もありましたが、チームで話し合い進める事が出来ました。ここで終わりにせず、この取組みを大切に縄岡氏にご指導頂いたことを他の方の支援にも取り入れ継続して行なっていけるようにしていきたいと思えます。1年間、とても勉強になりました。ありがとうございました。（平野香織）

海上



天候・災害・病災と恐ろし気なニュースが流れ続ける中、本当にその人に必要な支援とは何か？折り合いというものをテーマに発表出来て本当に幸せでした。様々に変化していく環境に対し、変える事が出来ない自分の要求とのギャップ・・・それを埋めていく事が本当の支援だと思えました。ひとつのスタイルを提供し続ける事が支援ではなく環境や本人の成長といった変化に応じて変わっていく事が真の支援ではないでしょうか？改めて変化し続けるための余力・エネルギーが欲しいと思えました。研修に参加された方々の熱い視線がそのまま現場に注がれる事を祈ります。（山崎裕）

希望塾



日々支援していく中でその人にとって安心できる環境であるか？作業が嫌にならないように取り組んでいるか？その人らしく過ごせているか？等々悩みながら支援を行っていました。今回アセスメントを取りその結果を基に利用者さん中心の支援を支援ミーティングメンバーと意見を出し合いながら一緒に考えたところは、自分にとって刺激になり多くのことを学ばせて頂きました。自分にとっては大変でしたが、その結果利用者さんの成長と変化が見られたことはとても嬉しかったです。チームワークの大切さを改めて感じました。（楠木淑梅）

今年度の取り組みの中で強く感じたことは、今までいかに主観による支援を行ってしまっていたかを痛感できました。客観的なアセスメントや、家庭での過ごし方など事業所以外での活動や検査による多角的な対象者からの情報収集による支援の組み立てを行う事によりその人により良い支援が行われること、事前情報の重要性を認識できました。（増田直希）

内部研修 口腔ケア 今・昔

令和2年2月22日（土） 海上アルファ工房

夢屋診療所の歯科医師鈴木真子先生にお時間を作っていただき内部研修を行いました。二人一組になりどのように磨けば相手が不快に思わずに磨くことができるかなどの基本的な介助の仕方を教えていただきました。各事業所で実践できるよう周知していきます。



海上アルファの恒例行事 ギャラリー展



1人1人の個性や思いが詰まった作品でした。
(来訪者様より)

作品発表おめでとうございます。四季折々、個性が光る作品の数々、とても素敵に飾られていました。また、先生方が色々なアイデアをお持ちになり障害を持つ方をサポートされている様子が目に浮かびます。今後も宜しくご指導願います。(来訪者様より)

クリスマス・お楽しみ会



たのしかった～



アルファ工房 イベント

初詣



節分

